【専門分野】

科目名	老年看護援助論Ⅰ（対象の理解）	講師名	専任教員	学年	２	履修期	第１学期
単　位	１単位						
時間数	３０時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	高齢者が健康な生活を意識した行動がとれるように、また、障害や疾病をもちながら体力低下を防ぎ、健康を維持するための日常生活への援助を学ぶ。						
授業科目目標	１．加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化が及ぼす健康課題を学び、高齢者の健康生活を支える援助を理解できる。 ２．老年期の特徴を踏まえた看護の展開が習得できる。						
授業計画	１回：高齢者の健康 １）老年期における健康の考え方 ２）高齢者の自立・介護予防への援助 ３）高齢者の心の健康を高めるための援助 ２～３回：高齢者疑似体験 高齢者の生活リズムの回復に向けた日常生活の援助 ４回：活動・休息への援助 １）基本動作、活動、アクティビティケア ２）休息、快適な睡眠（不眠時の援助） ５回：食生活を豊かにするための食事への援助 １）高齢者の特徴と摂食・嚥下障害 ２）高齢者の特徴と低栄養（フレイル・サルコペニア ６回：排泄への援助 １）高齢者に特徴的な排尿障害と援助 ２）高齢者に特徴的な排便障害と援助 ７回：脱水予防のための援助 視覚・聴覚機能低下（老人性難聴）への援助 ８回：清潔・衣生活への援助 １）安全・自立を支える援助 ９～15 回：大腿骨頸部骨折患者の看護（看護過程の展開） １）再発予防のための生活習慣の改善に向けた援助 ２）ＡＤＬの程度に応じた自己管理に向けての患者指導 ３）高齢者の自尊心に配慮した援助 15 回：終了試験	講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 事前課題 グループワーク						
評価方法	筆記試験（６０％）、課題レポート（４０％）						
テキスト	１．系統看護学講座　専門分野　老年看護学，医学書院. ２．泉キヨ子・天津栄子：根拠がわかる老年看護技術，メヂカルフレンド社.						
参考書	１．奥野茂代他：老年看護学　−概論と看護の実践−，ヌーヴェルヒロカワ. ２．水谷信子監修：最新老年看護学，第３版　2017 年版, 日本看護協会出版会. ３．ナーシング・グラフィカ　高齢者看護の実践，メディカ出版. ４．ナーシング・グラフィカ　高齢者の健康と障害，メディカ出版.						
学生へのメッセージ	高齢者の身体内部で生じている状態をよく理解したうえで、高齢者のケアをしていくための視点をもって予測し、予防的ケアを行うことで、高齢者のＱＯＬの向上を目指すトータルケアができるようになることをねらいとしています。 【関連科目】病理学Ⅲ、共通基本技術Ⅳ、生活援助技術Ⅰ～Ⅲ、老年看護学概論						